

打水に蝶美しき場末かな

兄と競ふよ打水の飛ばし方

打水も水打つ人も城下町

せめてもの打水を打ち重ねたり

弟の自慢の水の飛ばし方

打水にひと先づ今日の暑さかな

「バックします」と朝方の打水の路地

打水の途中俄にかき曇り

打水に狙ひ処のありにけり

打水を固き大地が吸ひ込みぬ

打水に片寄せられし泡や塵

打水の滞空時間長かれと

打水の後も大地の固きかな

打水と向きを違へて虹の橋

水打つや西日埃を立たせつつ

空を飛ぶ打水に虹かかりけり

折り返し残りの水を打ち終る

打水の二度目は少し効きの良き

打水の大方乾きたる時分

太刀打ちの敵はぬまでも水を打つ

打水の生乾きへと重ね打つ

打水の仕舞は庭の箒にも

打水の最後に乾くところかな

打水の端を埃の昇天す

石段に虹を掛けつつ水を打つ

蜻蛉も揚羽も来よと水を打つ

石段の石の火照りに水を打つ

投げ掛けるやうに夕焼に水を打つ

水鉄砲

15:40 PM
15:45 PM

15:40 PM
15:44 PM

終りは11:43 PM

衰へし夏に最後の水を打つ

打水に片寄せられし泡の跡

打水の地の濡色の濃かりけり

打水もここ二三日打たざりき

打水の乾かぬ内の重ね打ち

打水と言ふべき畑のシャワーかな

二三日打水もなきころとなり

打水の最後に乾くところかな

石段の石の火照りに水を打つ

夕焼を鎮める如く水を打つ

打水の大方乾きたる時分

打水のしばらく光る土の上

いつのまに水打つことも忘れがち

打水の最中一天かき曇り

舗装路に土の香のなき水を打つ

きのふけふ庭の打水怠りて

夕風に打水ももう打ち止めか

打水の端を埃の昇天す

このごろはもう打水も打ち止めか

空を飛ぶ打水に虹かかりけり

水打つや西日埃を立たせつつ

打水のあれが打ち止めだったかと

石段に虹を掛けつつ水を打つ

兄と競へり打水の広げ方

打水をけふは神輿の男らに

打水と向きを違へて虹の橋

弟の打水自慢見てやりぬ

打水に狙ひ処のありにけり

打水に刹那の虹を賜りぬ

炎帝に敵はぬまでも水を打つ

打水の滞空時間長かれと

打水を固き大地が吸ひ込みぬ

打水に禱掛なる女衆

打水を終へても今日の暑さはも

打水の後も大地の固きかな

打水の桶も柄杓もなきシャワー

山門の仁王の桶に水E打つ

4:53 am

昇天す 4:50 am

桶柄杓なくてホースの水を打つ

打水の余りは庭の箒にも

せめてもの打水を打ち重ねたり

打水の二度目は少し効きの良き

会釈して打水の端を通りけり

「バックします」と朝方の打水の路地

打水も水打つ人も城下町

その車打水車とも申すべく

打水に蝶美しき場末かな

蜻蛉も揚羽も来よと水を打つ

打水のシャワー豊かに枝垂れたる